

僕の宇宙にはいつも君がいた

こんな気持ちを抱えて
なぜ生きなきゃいけないの

あの時、愛を伝えられなかった僕の、
3つの“もしも”の世界。

LEWIS PICTURES INC. PRESENTS LEWIS PICTURES INC. PRODUCTION
PRODUCED BY KIM HEE-KYUNG DIRECTOR BAEK SEUNG-BIN
SCREENPLAY BY BAEK SEUNG-BIN STARRING SIM HEE-SEOP, HONG YA-BIN, SHIN JOO-HYUP
CINEMATOGRAPHY BAEK SEUNG-BIN EDITING MOON IN-DAE, BAEK SEUNG-BIN MUSIC KOO JAWAN
WORLD SALES BY HIVE FILMWORKS INC.

シム・ヒソブ ホン・サビン シン・ジュヒョブ ソン・チャンウイ キム・ジュリョン
監督・脚本・撮影：ベク・スンビン

2023年 / 韓国 / 韓国語 / 144分 / シネスコ / 5.1ch / カラー
原題：안녕, 내일 또 만나 / 英題：So Long, See You Tomorrow / 日本語字幕：コアフィアティス恵思

© Lewis Pictures All Rights Reserved



提供：KDDI 配給：日活・KDDI

彼に想いを伝えられなかった1995年の秋。
25年後の僕は、テグ、ソウル、プサンで、
3つの運命を辿る——

選んだ数だけ、人生は形を変えていく

第11回ソウル国際プライド映画祭オープニング作品として上映され、韓国で話題を呼んだ作品が、いよいよ日本公開。青春時代のやせなさを抱える男が思い描くのは、「もしも、あの時に戻れたら……」「もしも、愛を告白できていれば……」。誰もが一度は考えてしまう、人生の分岐点で“選ばなかった”もう1つの道。別の選択をしていれば、どんな現在を生きていたのだろうか——。そんな、後悔とも未練ともつかない気持ちで生きるすべての人へ贈りたい、“もしも”のパラレルワールド。3つの人生を生きたのは、「パンドラ 小さな神の子供たち」のシム・ヒソプ。繊細で脆く複雑な心情を、確かな演技力で示した。その青年時代を、『このろくでもない世界で』でソン・ジュンギと共演し、注目を集めたホン・サビンが好演。さらに、「イカゲーム」のキム・ジュリオンなどの他、「かくれんぼ」のソン・チャンウィが特別出演を果たす。メガホンを取ったのは、デビュー作『葬式のメンバー(原題)』で、ベルリン国際映画祭など海外の名だたる映画祭に招待され、インディペンデント映画界を代表する監督としての地位を築くペク・スンビン。心の奥底に仕舞い込んだ思いと向き合い、まだ知らない新たな自分に出会える、切なくも温かい、誰も観たことのない韓国映画のパラレルワールド傑作が誕生した。

テグ・ソウル・プサン 3つの“もしも”を生きる男が見つけた、 本当の自分。

STORY

1995年、テグ。不仲な両親や学校でいじめられる日々に鬱憤を募らせていたドンジュンは、カリスマ性溢れる男友達のカンヒョンに恋をした。しかし、彼との穏やかな日常は思いがけない事件で終わりを迎え、カンヒョンはテグを去ってしまう。想いを言葉にできず、後悔を抱えたまま大人になったドンジュンは、不幸で惨めだと感じる人生を消化しながら、ふと思う——「もしあの時、別の選択をしていれば……？」テグで高校教師になる運命、ソウルで大学教授になる運命、プサンで父親になる運命。3つの異なる2020年秋を生きるドンジュンは、足りない何かを探し続け、やがて本当の自分を見つけて行く——。

憧れの彼との
別れから25年。
想いを告げられなかった
青年は、
今も愛を探してらる。

監督：ペク・スンビン「僕と春の日の約束」「葬式のメンバー(原題)」

出演：シム・ヒソプ「あしたの少女」「パンドラ 小さな神の子供たち」

ホン・サビン「脱走」「このろくでもない世界で」

シン・ジュヒョプ「無人島のディーバ」「同感—時が交差する初恋—」

ソン・チャンウィ「かくれんぼ」「オレのことスキでしょ。」

キム・ジュリオン「イカゲーム」「涙の女王」

公式X @ Kcinema_2025 公式サイト aisansen.com/anomoshi/



10.31(金) 全国順次公開

ムビチケオンライン券 発売中!

¥1,600(税込) ご購入はこちらから▶

